

令和5年度 北九州市立柳西中学校 学校経営方針

北九州市立柳西中学校
校長 山本 浩三

校訓

自律
協同
責任

学校教育目標

校訓（自律・協同、責任）の精神を基調に、夢と活力に満ちた潤いのある学校を築き、知・徳・体の調和のとれた未来を拓く心豊かな生徒の育成

本市の教育目標

SDGsの視点を踏まえたシビックプライドの醸成

- ・自立し、思いやりの心を持つ子ども
- ・新たな価値創造に挑戦する子ども
- ・本市に誇りを持つ子ども

目指す学校像

- ①明るく活気のある学校
 - ②学習環境の整った学校
 - ③地域から信頼される学校
 - ④夢と活力に満ちた潤いのある学校
- 会いたい友達・先生、学びたい授業、明日も楽しみな柳西中

目指す生徒像

- ①明るい笑顔で、自己の夢を育む生徒
 - ②自分・友人・環境を大切にする生徒
 - ③自ら学び、粘り強く行動し、やりきる生徒
 - ④心身を鍛え、未来を拓く心豊かな生徒
- 自他のよさや可能性を認め合う信頼関係のもと日々の学習や活動に笑顔で取り組む生徒

目指す教職員像

- ①生徒一人一人のよさや可能性を大切にする、使命感・責任感あふれる教職員
 - ②謙虚に学び続け、職能を磨き、実践に臨むとともに、WLBを大切にする教職員
 - ③相互に支え合い、同僚性を高め、保護者・地域との信頼関係を築く教職員
- “チーム柳西”として一丸となり、情報共有・行動連携を実践する教職員

重点目標と具体的方策

確かな学力の向上

生徒一人一人が主体的に学びに向かう授業、指導と評価の一体化による学力向上の推進

- ①「生徒自らが主体となる場面（発表する・話し合う・傾聴する・書くなど）」や、「自己を振り返る場面（自己省察・メタ認知）」の意図的・継続的な実施 **【学びへの主体性・自己肯定感】**
- ②授業とつながる自主学習・家庭学習の励行
- ③個に応じた指導と指導方法の工夫・改善（TT授業の実践）
- ④ICTの積極的な活用推進（GIGA端末の効果的活用など）
- ⑤朝読書や学校図書館を活用した日常的な読書活動の推進
- ⑥不登校等対応の充実による学力保障（ステップアップルーム活用）
- ⑦教科を越えた全校体制による学力調査結果の分析・活用

心の育ちの推進

自他を大切にする優しい心を持ち、豊かな人間性をはぐくむ教育活動の推進

- ①学校行事や具体的な体験を通して他との関わり大切さに気付く活動の推進 **【協同・責任・SDGs】**
- ②生徒会活動の活性化による自分たちでやりきる活動の推進 **【自律・責任・SDGs】**
- ③道徳の時間の充実（ローテーション道徳、教科道徳の評価研究）
- ④確かな人権感覚を育む人権教育の推進（明日への伝言板など）
- ⑤特別な支援や配慮を要する生徒へのきめ細かな指導・支援の継続
- ⑥生徒指導提要に基づく組織的・積極的な生徒指導の推進
- ⑦落ち着いた校内環境づくりと愛校心を育てる清掃活動の徹底

健やかな体の育成

健やかな体をつくる指導の充実、体力の向上

- ①基本的な生活習慣の定着（規則正しい生活、感染症対策）
- ②給食指導を中心とした食育の推進
- ③運動に対する関心意欲を高める体育発表会やクラスマッチ等の体育的行事の実施、部活動への参加促進
- ④自己の掲げる目標にチャレンジする新体力テストの実施など、意図的・計画的な体力向上への取組 **【チャレンジ精神・自己肯定感】**
- ⑤生徒のかけがえのない命を守る健康・安全・防災教育の推進（自殺予防教育、心の健康促進、防災訓練、ウイルス感染予防）

連携の充実

地域に根差した活動、小中一貫・連携教育の推進

- ①保護者・地域とともに取り組む豊かな体験の機会の創出
※コミュニティスクール・地域学校協働活動の推進、（ワンディボランティア・地域ボランティアの活用）
※小・中一貫・連携教育の推進
※地域行事等への生徒の積極的参加 **【シビックプライド・SDGs】**
- ②学校からの積極的な情報発信（学校・学年・学級通信、HP）
- ③授業参観、体育発表会、文化発表会、学校開放週間等公開で行う教育活動の充実

時間を守る 清掃・美化 笑顔で挨拶 服装を整える 話を謙虚に聞く

重点目標達成のために大切にしていきたいこと

◎危機管理体制・対応の徹底

<リスクマネジメント>

- ・いじめアンケート、教育相談等による把握
- ・特別な支援・配慮が必要な生徒の個別の支援体制の充実

- ・危機管理体制充実による学校事故未然防止

<クライシスマネジメント>

- ・危機管理の「さしすせそ」
最悪の事態を想定、慎重に、素早く、誠意をもって、組織で対応
- ・「ほうれんそうかく」
報告、連絡、相談、確認
- ・記憶より記録

◎教職員の同僚性の構築

～協働体制（協働精神）の発揮

- ・お互いの強みを生かしあうチーム
- ・ベテランの知恵を継承するとともに、若手の豊かな発想を支援し、互いに学び合う風通しのよい職場づくり

◎選択と集中

- ・今、何が必要で、何が求められているか

◎計画性

- ・何を、いつ、どのように

◎危機意識

- ・「ひやり」「はっと」の感覚を大切に

◎教育公務員としての自覚とプライド

・綱紀粛正

・不祥事撲滅

- ・体罰、不適切指導や言動、飲酒運転…等
- ・TPOに応じた服装や言動

◎全員参加、率先垂範

◎メンタルヘルス

- ・心と体の声を聴き、健康管理を

◎ワークライフバランスの推進と業務改善

- ・定時退校日、部活動休養日の徹底
- ・オフの充実によるオンへの活力
- ・仕事の仕方改革、発想の転換

場 面	目 指 す 教 師 ・ 教 職 員 集 団 の 姿
始業前	・余裕をもって出勤し、それぞれの場所で生徒を温かく迎える。 ・一人一人に目を向け、明るさや元気を引き出すあいさつなどの声かけをする。
朝の会	・生徒一人一人の表情を見ながら出席確認、健康観察を行い、心身の状態をとらえる。 ・目的意識をもって一日のスタートが切れるよう、*朝の学級活動を工夫する。 (*朝のスタートで、所属感、自己肯定感（自分にできるぞ）、責任感（自分がやるぞ）などを感じさせる声かけを行い、級友と共にがんばろうというやる気を引き出す） ・連絡のない遅刻・欠席者があれば、必ず家庭に連絡を取る。
授業中	・*一時間一時間の授業の中に教育のすべてがあることを認識し、毎日の授業に臨む。 (*教科等指導、生徒指導及びその基盤となる教師と生徒との関係性や配慮すべき教育環境などが授業の中にすべて埋め込まれていることを認識する) ・生徒の実態を把握し、向上心に火をつける様々な手立てを常に工夫する。 ・必ず身に付けさせる基礎的・基本的な内容は繰り返し学習などによりしっかり教え込む。 ・生徒一人一人のよさが発揮できるよう、発表や活動の場を工夫する。 ・特別な支援を要する生徒への配慮事項と指導の見通しを教師間で共有し、指導に当たる。
休み時間	・生徒との日常的なふれあいを通して、いじめや心の悩みなどの早期発見、解消に努める。 ・授業教室への行き帰り時や昼休みに生徒の日常的な動線や留まりやすい場所へ連携して姿を見せるなどして、教師のアンテナを高く広げ、生徒の動向を見守る体制づくりに努める。
給 食	・生徒と共に準備や後片付けをする。 ・班に入って楽しく会食するなどして、生徒とのコミュニケーションづくりに努める。（コロナ収束後）
清 掃	・日常的な清掃・美化活動を徹底し、心なごむ環境を自分たちの手で創ることの使命と喜びを示唆する。 ・師弟同行、共に働く喜びを生徒と共に分かち合う。
帰りの会	・一日の生活を振り返らせ、達成感や明日への課題を共有させることで、明日の学校生活が楽しみと思えるような雰囲気をつくる。 ・交通安全や不審者等に対する注意を促し、安全な登下校への心構えをもたせる。
放課後	・帰りの会終了後は、机脚や身の回りを整えてから下校するよう習慣付けを図る。 ・欠席生徒には、必ず電話や家庭訪問等で励ますとともに翌日の連絡をする。 ・最後に教室、廊下、トイレ、集中下足入れ等を点検・整理し、用事もなく残っている生徒がいれば下校や部活動へ促す声かけをする。 ・必要に応じて生徒への教育相談をしたり、教科等の質問に答えたりする。
部活動	・生徒の身体的・精神的な発達段階を考慮しながら、主体性、協調性、社会性、粘り強さ、思いやりの心などを育て、個々の生徒の思いや願いが達成できるよう適切な指導を行う。 ・共通の特技、趣味、目標をもつ集団の教育力を生かし、校訓「自律・協同・責任」を具体的に実践する場としての部活動のあり方を探る。
進路指導	・生徒の発達段階に応じた啓発的体験活動を通して、生徒の自己理解を深める。 ・生徒の実態や思いを把握し、進路選択にあたって適切な助言や支援を行う。
校内環境	・教師が率先して行動し、生徒と共に心なごむ温かな校内環境づくりに努める。 ・校舎内外を彩る花々、室内や廊下の壁面を飾る掲示物を生徒と共に工夫し大切にする。

“チーム柳西”として一丸となり、常に情報共有・行動連携を実践し続ける教職員集団！